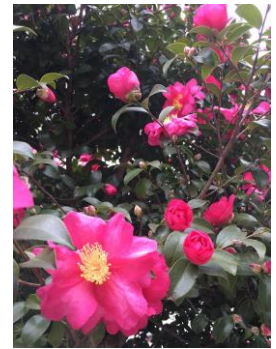




【No. 8 2】



【2017年12月 発行】

元神論

西洋の“元神”説

一、西洋の元神は特別な心理状態の下で起こる超常能力、靈感(インスピレーション)を指します。イギリスでは、100年以上前の建物は新しい建物より人気があります。霊(凡人には見えない神と分ける体の一つ)が住むと考えるからです。

創造活動中に、精神が超常能力の状態に入ると、元神はその作用を発揮し、行動で神の意志を表現します。ピカソの絵は元神の現れの一つの例です。

二、宇宙間には私たちがまだ認識していないエネルギーが存在しています。このエネルギーは無意識のときに存在し、効果が出て初めて認識されます。しゃぶしゃぶを食べると体が温かくなった等の認識の仕方を生命の感応といいます。植物や動物、山や川と会話できる、日や月が体の一部になる等の魂と身の結合によって生まれる感応は、識神能では理解できません。

三、知覚超限

知覚超限とは知覚(識神)が人間の認識の限

りを越えることです。普通の知覚は微小知覚の集中、識神以外の知覚は超限知覚といえます。氷山の真正の力は、水面の下にある見えない力です。タイタニックの事故で、船長には水面下の真正の力が見えなかったのです。意識で認識できるのは表面に見えるものだけで、奥にあるものを認識できる真正の意識は無意識です。地震や病気の発生の原因は地球の本能、自分の身体の本能にあるととらえます。気のバランスの問題です。

四、地震、台風等災難の発生を、西洋では一部を地球の本能と考え、他の部分は認識されていません。気功では地震発生の原因は自然のものだけではなく、仙人たちの活動ともとらえます。地震は仙人が地脈をとるときや、海の下別の世界の気脈をとるときに発生するといえます。

西洋の意識説

意識は前意識と無意識とはっきり分けることができず。観念に違いがあるだけです。

意識—現在意識今もっている知恵力、元神に対応する意識のこと

前意識―初めて食べたけれど前に食べたことがあるなど甦る意識
無意識―睡眠中の意識など、自分で指示、誘導できない意識

人格には一貫性、通貫性がありません。時期や環境の変化によって人格は変わります。しかし、元神は人の本能、思惟と行為にずっと影響しています。私たちの本能は深い無意識の中に隠れています。元神は無意識の深いところにあるので、普通するときには認識できません。台風、雨など天気の変化、地震などの予期はまだできません。元神には人の思惟を永久に支配する作用があります。

精神世界はよく変化する映像、本能と理智、無意識と意識、動物性と社会性など、互いに作用転化の系統です。企業精神などは言葉を使うより精神的なものです。動機(〜したい、やりたい)の昇華は精神にあります。たくさんさんの動機は、不断の改良・修正を繰り返して、更に革命をすることで完璧な精神世界を達成します。

無意識の元神はとても複雑ですが、とても自然で最も有効な機能を持ちます。元神が一旦発現すれば人類の巨大な進歩になります。

気功の一番大切な鍵は深層の元神の発現、気功と身体、意識、呼吸の完美结合にあります。元神を認識する環境を作るといいうことです。人の脳力をもっと高級な能力にし、想像力と直覚力を毎日更新する能力を持ちます。

心理分析学

人の精神活動の一部は意識状態の下で行われますが、大部分の精神活動は無意識の下で行われます。象棋やパソコンなどはほとんど無意識に行われています。それは不知不覚・潜在意識の中の行為です。

潜在意識は前意識と無意識とに分けられますが、はっきり分けるのは難しいものです。前意識は人によって違い、それぞれの衝動(〜をやりたい) 願望(〜したい) 知覚(甦るもの) 経験(人生の経験) によって組み立てられています。

過去に体験しているはずの前意識を忘れてしまうのはなぜでしょうか？

原因はいろいろありますが、したくないという気持ちや何らかの圧迫によって脳に印象がなくなるからです。

この前意識は練功で甦る可能性があります。

1、無意識は精神レベルが高く、遠祖と繋がっています。無意識には先世の経験、内容、お互いの影響などが入っています。それらは入静・夢・幻想の中に出てくることがあります。

では、なぜ先世の意識が無意識になるのでしょうか？

それは孟婆神(亡者の前世のことを忘れさせる薬湯を飲ませる神)の働きによるものです。

“奈何橋孟婆湯”(前世と来世の間に架かる橋を渡ると孟母が湯を渡す。その湯を飲むと前世の記憶がなくなる)

2、無意識は老子の言葉の“凝神入気穴”(練功で入静して精神を集中し気の穴の中に入ると無意識が見える)にあるように、凝神のあと見えるものです。

3、無意識は全新的な全て新しいで知らない秩序です。この秩序を知っているとできないことができるようになります。しかし

無意識は識神では把握できないものです。
4、この秩序は人と自然、社会の関係の基
本です。私たちの理解力、智慧力の本です。

5、この秩序は人類の潜在意識の中に存在
し、識神では理解できないものです。人の
情感・知覚・想像・理解力などを決定しま
す。無意識は宗教・原始芸術・児童芸術の
中によく出てきます。

高峰体験II元神独立

一、自分の生活の中のすばらしい体験、珍
しい不思議な創造的な思想が出る時刻を高
峰体験という。

二、最大限度、自分の能力と智慧を使って
新しい精神状態に入り、成熟・完美、目標
を達成する人を自我実現の人といいます。

三、自我実現の状態は最高・最和諧の状態
で、夢中になって喜び、宿願を果たします。
極度の喜びなどで、目の前の幕が突然開き、
新しい世界が開かれます。見えないものも
見える超高級の楽しみがあり、愉快な世界

です。それは仙人レベルの世界です。そこ
で私たちは宇宙の本質と秘密を見ることが
できます。

四、高峰体験は元神体験です。一
瞬の間に別の世界に入ります。最
高の愉快が心身に充滿して、認識
は自由の空間に入ります。不幸・
恐ろしさ・不安が離れていきます。
創造力や想像力が、今現在の思惟
を超越し、元神を最大限生かせま
す。精神は無限度に開発され、何
でも思うままに届けられ、身と心
は宇宙と共に永恆のものになります。

秋の練功会

秋は収穫の季節です。萬物結実、

碩果累累の時期は歌い、踊るかのよう
に気功練功を楽しむ生活体験があります。

10月22日、私たちは2017年度の
秋の練功会の日を迎えました。突然の国会
解散に伴う選挙の為に練功会開催予定の会
場と日程が変更になりました。会員のご協



力を頂き、市川南自治会館で無事開催が決
まりました。今年の気は陰の気が多く、台
風の影響で秋の練功会は激しい雨の中で進
行しました。

陽主動主昇発、陰主静主蘊蔵。

今回の練功会で
は皆様から大爆発
のパワーを感じま
した。

気功理論のお話
は『元神論』です。
『元神論』は気功の
高級理論として中
国春秋時代から盛
んでした。2500
年前から今に至る
まで気功最高理論
として存在してい
ます。『元神論』を
お話しする時、皆様
の表情は全身全霊
で聞いています。や

はりこの一年、各教室の理論教学も上手に
できたことを感じました。皆様の理解力は
上級です。

動功の部門では昨年よりも流暢な表
演で渋い、未熟な感じがありません。型が
身につきました。その上で動作の強さ、速

さ、身体の靈活性も一歩前進の感覚がありました。ですから楽しさや余裕が出てきました。

今年は新功法発表の一番多い1年でした。三歩功の他には十字訣、七星仙人功、古仙人気功『赤鳳髓』などが発表されました。

皆様は一生懸命に気功の真髓を表現しました。各教室の発表と5人の気功師の表演はそれぞれ自身の気功の理解と感情も上手に表現しながら体を動かす能力と意念が結合しました。更に精進することを希望します。合格と言つより“妙”と言つ表現がぴったりな感じがします。勿論個人的理解で表演の可



能性もありますので再研究の必要があります。気功の進歩はその流れです。1分の努力は1分の収穫になります。今回の練功会は必ず皆様の気に対する認識に大きな役立ちがあり、健康な生活の品質に深くて遠い影響があると思います。皆様の気功に対する熱愛精神に心より感謝しております。

于雷

古仙人高級気功46式

第八式 容成公静坐

5千年前の仙人です。西安近くの出身。自身が仙人になった平涼崆峒山に聚仙閣という道観を作り、たくさんの人と仙人になる修行体験を交流したいと思いました。3500年前の黄帝は容成公が1500歳の時の弟子です。黄帝は容成公に会いに片道馬車で1週間かけて6回訪れました。仙人が開山しなければ凡人は入山出来ませ

ん。黄帝は容成公の友人、広成子仙人に頼みました。広成子は法宝の番天印を投げて開山し、黄帝は6回目に容成公に合うことができました。

鳴鼓、叩齒、下坐の3つが合体した功法。



【ホームページ】

于雷気功大師の外気実演動画掲載中です。

<http://yurei-kikou.com>

応援価格 一部 二〇〇円

編集責任者 于雷

編集スタッフ 植松 恵美

山本 教子

小林 達志 他

連絡先 ☎070・2155・7134